

案件化調査：農業分野

フィリピン 農産物流通IT導入案件化調査



企業・サイト概要

- 提案企業：イーサポートリンク株式会社・日本工営株式会社共同企業体
- 提案企業所在地：東京都
- サイト・C/P機関：フィリピン全土、農業省

フィリピンの開発課題

- 農産物流通における課題
生産：作付け計画が困難、買い叩きによる安い販売価格
流通：輸送コスト高、ポストハーベストロス、需給のアンバランス
消費：供給不安定、購買価格高騰、低品質、安全性への不安

➢ ニーズ

- ・需給調整
- ・卸売市場整備
- ・コールドチェーン構築
- ・農産物付加価値化
- ・肥料、農薬管理

➢ あるべき姿



ハード、ソフトインフラ整備により適切な情報の収集、共有、活用を行うことで効率的農産物流通システムが構築される

中小企業の技術・製品

- ESL システム(青果物販売管理システム)
生産者・生産企業・中間流通業者が共通コード体系で売買・加工・出荷を管理。商品の受注、検品、在庫、加工、仕分、配送、等の情報を一元的に管理でき、商流、物流、情報流をタイムリーに把握し効率的な取引に活用可能。
- A Farm Story (栽培管理システム)
流通する農産物の栽培履歴を生産者が電子データで記録し、流通、小売関係者および消費者に対してインターネットを介して情報提供するシステム
生産監視(農薬、肥料)、情報公開、商品PRの機能により農産物の価値の向上が期待できるシステム

提案されたODA事業及び期待される効果

提案事業

- 「農作物流通政策支援事業」(技プロ)
規格標準化、農業法制度更新
- 「農作物流通開発事業」(円借)
市場整備、市場運営管理能力強化
- 「農作物流通開発事業パイロット事業」
農産物の流通情報管理・活用、現行ODA事業の活用

効果

- 生産者の所得向上
- ポストハーベストロスの軽減
- 農産物の供給、価格の安定
- アジア農作物市場への参入

日本の中小企業のビジネス展開

- 既設の卸売り市場、生産組合への試験的システム導入(セントロパミリハン市場、ベンゲット農民マーケット協同組合)
- 民間生産企業へのシステム導入(青果物輸出企業)
- 今後整備予定の卸売り市場や他の既存卸売り市場への導入(アグリピノイトレーディングセンター)